

毎月第1・第3日曜日発行
広報みたかはシルバー人材センターの
会員がお届けしています。

発行：三鷹市
編集：秘書広報課
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1
市役所代表電話
☎0422-45-1151(代)
ホームページ
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/
携帯サイト
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/i/top.html

今号の紙面から

参議院議員選挙	2
お子さんの医療費助成を拡充	2
老医療症と国保高齢証をお持ちの方へ	2
平成19年度「各部の運営方針と目標」	3
傾聴ボランティア養成講座の受講生募集	5
市からのお知らせ	7~4



戦没者追悼式献花台

8月15日(水) ~世代をこえて平和を考える日~

仙川公園における献花

☑ 午前9時~10時30分 所 仙川公園・平和の像前

仙川公園から三鷹市公会堂まで、連絡バスを運行(9時20分、50分発)

戦没者追悼式並びに平和祈念式典(手話通訳付き)

献花、コーラス(混声合唱団りべるて・大成高校合唱部) 追悼と平和祈念のことは、被爆体験談(三鷹市被爆者の会) 朗読(連雀地区住民協議会) 黙とう

☑ 午前10時~午後0時5分 所 三鷹市公会堂

展示コーナー

中国帰国者の会三鷹支部による展示コーナー

☑ 午前9時50分~午後3時30分 所 三鷹市公会堂ロビー

平和アニメ上映会

「はとよ ひろしまの空を」「あした元気にな~れ~半分のさつまいも~」

☑ 午後1時20分(開場1時)~3時30分 所 三鷹市公会堂ホール

子ども向け平和図書コーナー

☑ 午後1時~3時30分 所 三鷹市公会堂ホール

平和への願いを込めた千羽鶴をお寄せください。

仙川公園、戦没者追悼式並びに平和祈念式典に献呈します。

折り鶴は一つ一つすべて糸などでつなげて掛けることができる状態にしてください。差し支えなければ名札もお付けください。ご提供いただける方は、8月13日(月)までに企画経営室☎内線2115へ。



7月29日(日)は
参議院議員選挙です。

くわしくは2面へ

平和の想いを次世代へ みたか平和のこころい開催

戦争の記憶を次の世代に語り継ぎ、平和への誓いを新たにするため、市では今年も8月の平和強調月間に「平和展」などを開催します。多くの方々の参加をお待ちしています。

☎ 企画経営室☎内線2115

平和展「原爆と人間展」
同時開催「悪魔の兵器~地雷展」

☑ 8月8日(水)~15日(水)
午前9時~午後4時30分
(11・12日を除く)
所 市役所1階市民ホール



「原爆と人間展」より

平和カレンダーの絵・メッセージを募集します

絵は「平和」をテーマにB4版横長の用紙に自由に描いてください
(文字は入れないこと)

☑ 市内在住の小学生(グループでの作成も可)

☑ 市立小学校の児童は学校へ、そのほかの学校へ通う児童は9月7日(金)までに直接または郵送で〒181-8555三鷹市役所企画経営室(市役所3階) 市の締切は9月7日(金)

メッセージは8月15日(水)の戦没者追悼式並びに平和祈念式典、平和展の会場に備え付けたアンケート用紙に、平和への思いを自由にお書きください(郵送も可) 平和の絵を応募する児童は絵と一緒に提出してください。入選者には記念品を差し上げます。

戦後60年記念平和ビデオ「そして60年~三鷹のまちは戦場だった~」を貸し出します

☎ 企画経営室☎内線2115

黙とうにご協力を

防災無線により、下記の日程で恒久平和を祈る1分間の黙とうを行います。ご家庭や職場でのご協力をお願いします。

☑ 8月6日(月)午前8時15分(広島原爆の日) 9日(水)午前11時2分(長崎原爆の日) 15日(水)正午(終戦記念日)

協力団体(順不同、敬称略) 三鷹市遺族会 憲法を記念する三鷹市民の会 各住民協議会 三鷹市被爆者の会 中国帰国者の会三鷹支部 世界連邦運動協会三鷹支部 (財)三鷹国際交流協会 三鷹市の福祉をすすめる女性の会 三鷹市公立学校PTA連合会 三鷹市消費者団体連絡会 東京三鷹ライオンズクラブ 東京三鷹ロータリークラブ 東京井の頭ロータリークラブ 三鷹市女性問題懇談会 三鷹青年会議所 三鷹市赤十字奉仕団 三鷹市合唱連盟

市長コラム

三鷹産の夏野菜を
食べられる幸せ



三鷹市長 清原慶子

夏のジリリとする陽射しの中で、まさに、その日の朝に採れたばかりの三鷹産のトマトやキュウリをほおぶることができることは、本当に幸せなことだ。

農家の庭先販売や緑化センターの店頭で、私たちは地域で生産されたものを地域で消費することができる「地産地消」を実現しています。

都心に近い三鷹市内で都市農業を営むことは決して容易なことではありません。相続税制や農業関連の諸制度は、都市での農地保全や後継者確保を困難なものとしています。

そつしたなが、実習農園や体験農園、講習会等の開催をはじめ、市民の皆様は農業を身近に感じていただくと共に、農産物を通して農業者と市民の皆様との交流を深めるために開設したのが三鷹市農業公園です。この施設の運営管理は東京むさし農業協同組合に指定管理者として担っていただいています。

市内の農業者の皆様は自らの畑を提供して学校農園の活動に協力してくださいとされています。特に三鷹地区の農協青年部の皆様は、子どもたちの農業体験と食育の推進に協力されることにも、給食の残菜を利用した「たい肥」で野菜作りをして、それを給食で食べるというエコ野菜地域循環モデル事業等に協力していただいています。

先日、青少年対策中原地区委員会主催のキャンプファイヤーでも、三鷹産野菜を利用したカレーライス等をみんなで楽しくいただきました(写真)。三鷹産野菜で元気に夏を過ごしましょう。